

千葉県知事 熊谷俊人様

## 松戸保健所管内への県保健所増設と保健師の大幅増員を求める緊急要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会  
日本共産党松戸市議会議員団  
日本共産党千葉県議会議員みわ由美

日頃より、県民のためにご尽力されていることに敬意を表します。さてこの一年半におよぶコロナ危機のなかで、松戸市民からは、「保健所に電話が通じない」「松戸市だけをみる保健所が欲しい」など、切実な声が寄せられてきました。私たちは視察懇談を行い、松戸保健所が、住民の命と健康を守る重要な役割を果たし、公衆衛生の砦となっていることを痛感しました。同時に、人員不足のため極めて逼迫している危機的事態にあることも目の当たりにしてきました。

その最大の理由は、松戸保健所が管轄する人口が合計825,797人（松戸市492,632人、流山市201,647人、我孫子市131,518人 2021年7月1日時点）と、かねてから県内トップクラスになっていることです。しかも今、専門家からは東京都は「五輪後に2400名ペース」と警告されていますが、第五波ともいふべき感染拡大が止まりません。東京都に隣接する松戸市では、都内に通勤通学の住民が全体の2割を超えており影響は避けられません。

そもそも、一か所の保健所で約人口83万人の命と健康を守り福祉の増進をすすめることは困難ですが、新型コロナウイルスに関する多岐にわたる膨大な業務は、臨時的対応や松戸市等からの応援だけではカバーしきれず、限界と言わざるを得ません。実際に例えば第3波時には、松戸保健所だけで一日100人も新規感染への対応を余儀なくされ、クラスター対応、入院調整、自宅療養者への支援等々で、ほんらいの感染予防業務に集中できず、深夜土日に及ぶ業務や残業に忙殺されています。改善は、住民にとっても待ったなしの喫緊の課題です。

ほんらい保健所は、憲法25条の「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」に基づき、それを担う機関として1947年の改正保健所法により、都道府県に人口10万人に1か所を目安に設置されてきました。この原点に今こそ県が立ち戻り、かねがね「県民の命と暮らしを守る」と表明されている知事が、保健所体制の抜本強化に全力をあげることを強く求めます。よって以下、要望します。よろしく願います。

### 記

1. 松戸保健所の管轄人口約83万人は、県内でもトップクラスであり、かつ人口増加地域を含んでいることから、早急に新增設をすすめること。
2. 新型コロナウイルス感染拡大に対応できるよう、松戸保健所を含め県内各保健所の保健師等職員を大幅に増員し、検査課も拡充するなど、早急に体制の抜本強化をはかること。

以上